

社会生活を学びながら学校生活を送るために

社会の一員として生活するためのルールを学ぶ3年間

服装のきまり

制服

- 校内では名札をつける。
- ポロシャツのボタンは1つまではあけてもよい。 → クールビズ時と同様
- 正式の場合は、上のボタンまで締める。 → ネクタイ着用時と同様
- 靴のかかととは折らない。 → スーツスタイルにサンダルは不可
- 靴下は白・黒・紺・茶・グレー・深緑。ワンポイントまでは可。 → スーツスタイルの基本
- 靴下はスラックスで着席時、肌が見えない長さ → スーツスタイルの基本
- 外履きは、**運動靴**とする。
 - (スラックス) ○ スーツスタイルの基本に準じた履き方をする。
 - ・ ベルトの着用とウエストの位置。
 - (スカート) ○ スーツスタイルの基本に準じた履き方をする。
 - ・ スカートは折らない。
 - ・ 吊りひもは肩に必ずかける。
 - ・ スカートの裾は膝が隠れる長さにする。
 - ・ タイツは、冠婚葬祭でも着用可能なものにする。

ジャージ → スポーツ時のスタイルに準ずる

- 上着のファスナーは全開にしない。
- 開ける場合は、上から1/4までにする。
- 袖で手が隠れないようにする。
- ズボンがウエストの位置で履く。

頭髮のきまり → 相手への印象を考えて

- 髪色は変えない。
- パーマをかけない。
- 肩に髪がかかったら、耳より下の位置で縛るようにする。
- 前髪は目にかからないようにする。
- 落ち着いた印象を与える髪型とする。
- 整髪料は使用しない。
- ゴムやピンの色は髪になじむ色（黒・紺・茶・グレー・深緑）とする。 → スーツスタイルに準ずる

その他のきまり → 中学生という立場と年齢を考えて

- 元気な声であいさつをする。
- 制服で登下校する。(暑さ対策として半そで・ハーフパンツでの登下校、雨天時のジャージでの登下校、部活動後のジャージ下校を認める。)
- 朝の会、帰りの会は制服で行う。部活動がある場合には、昼休み以降に着替える。
ただし、1・2校時が体育の日の朝の会、部活動があるときの帰りの会はジャージでもよい。
- 化粧はしない。
- 眉毛は故意にいじらない。
- 爪は掌から見えない長さにする。
- キーホルダーはカバンに1つだけとする。拳1個分の大きさが目安。(お守りをのぞく)
- 必要のないものは学校に持ってこない。
- いじめや暴力を絶対にしない。
- 荷物は、担当教科の先生の話をよく聞き、家庭学習がしっかりと行えるように考えて持ち帰る。

* 細かいことは記されていないが、社会の一員として生活するルールを学ぶという意識をもって生活する。